

補光用・単色特定用途用LED 日長延長用LED電球



使用実績作物

トマト、なす、きゅうり、ベコニア、カリブアコア、バラ、野菜苗、花苗、プラグ苗、利休草、ダリア等

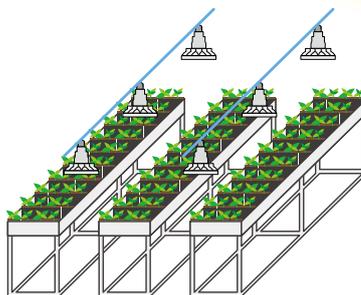
今まで、1灯あたり300～600Wのナトリウムランプ等で行われてきた光合成補光の電照をLEDにすることで、消費電力を大幅に削減することができます。

また、ナトリウムランプは消費電力の約50%が熱として放出され、この熱が農産物の生育を阻害し、収穫を低下させます。このため室温を下げるために温室の窓を開けるため、二酸化炭素が温室外に放出されてしまいます。LEDは、熱放出が少ないため、生育障害が少なく、二酸化炭素の温室外への放出もないので、効率的な栽培が可能です。



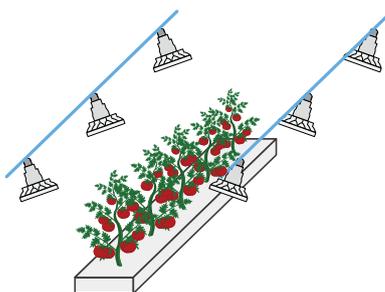
使用例1 花苗・プラグ苗

約1mの高さから、40WLEDを1.5m間隔で設置し日中照射、日長延長照射により、通年の同等収量増を実現した。
夏場も、温室内の温度を上げない為、二酸化炭素の放出が少ないです。



使用例2 トマト

斜め上1.7mの高さから、20WLEDを1.5m間隔で交互に設置し曇天や雨天時の日中照射や日長延長照射により、従来、収量が落ちてくる秋以降の収量の確保を実現しました。



特定の用途に利用される単色単波長LED

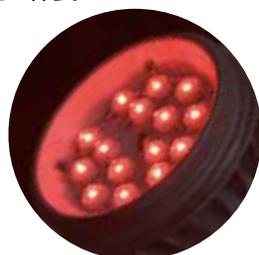
630nm(赤色)

菊・大葉の花芽の抑制に
露地小菊の電照に



735nm(遠赤色)

日陰効果による茎の伸長に



460nm(青色)

しっかりした太い茎を作るために

